

京王電鉄バス株式会社
京王バス株式会社

路線バスの完全キャッシュレス化に向け、 クレジットカードタッチ決済で路線バス全車両に乗れるようになります！

京王電鉄バス株式会社および京王バス株式会社（本社：東京都府中市、代表取締役社長 井上晋一）では、国土交通省が推進する完全キャッシュレスバスの実現に向け、2025年度から本格的な取り組みを進めており、2027年度に運賃収受における現金取り扱い終了を目指しております。

この目標に向けて2025年度より、三井住友カードの公共交通向けソリューション「steratransit」を活用した「クレカ乗車」サービスを順次導入していましたが、すべての路線バス車両（一部コミュニティバスを除く）への導入を2026年11月末までに完了させる予定です。

1. 導入対象車両

路線バス全車両 628両（一部コミュニティバスを除く、7月末現在）

中野営業所・永福町営業所・調布営業所・桜ヶ丘営業所の車両合計266台（2026年7月末現在、一部コミュニティバスは除く）にはすでに導入が完了しております。

府中営業所（小金井支所含む）・小金井営業所・多摩営業所・南大沢営業所・高尾営業所・八王子営業所の車両合計362台（2026年7月末現在、一部コミュニティバスは除く）について、2026年11月末までに導入を完了させる予定です。

2. 完全キャッシュレス化へ向けた取り組み

（1）完全キャッシュレスバスの目的

京王バスは「完全キャッシュレスバス」という新たな挑戦を始めています。この取り組みは、単なる支払い方法の変更ではなく、お客様のバス移動そのものを、より快適にするためのものです。キャッシュレスでの決済によるスムーズな乗り降りは、バスの遅延を減らし、定時運行を守ることにつながり、小銭を用意する手間や、交通系 IC カードの残高不足やチャージの手間など支払い時のストレスも解消します。また、駅券売機やスマートフォン等で履歴が確認できるなど、バスがもっと身近で使いやすい存在になります。

同時に、運賃機に関わる業務を減らすことは、安全運行を支える運転士の負担軽減や、経営の効率化にも直結します。これは、限られた人手の中で、地域の皆様に安定したバスサービスを未来へつないでいくための、重要な一歩です。

これからも、公共交通事業者として、バス路線が将来にわたって維持され、お客様にとって利便性の高い公共交通機関であり続けられるよう、京王バスは「完全キャッシュレスバス」の実現に取り組んでおります。

(2) 完全キャッシュレスバスの運賃お支払い方法

- ・交通系 I C カード
- ・クレジットカード（注）などによるタッチ決済
- ・東京都シルバーパス
- ・定期券
- ・その他（一日乗車券や企画乗車券、デジタルチケット）

※現金の取り扱いはございません。

※交通系 IC カードは、鉄道駅・コンビニなどによる事前チャージ、モバイルデバイスでのご利用にご協力ください。

※鉄道の改札機にタッチするだけで自動的にチャージする『オートチャージサービス』もございます。詳細につきましては、こちらのホームページをご確認ください。

(<https://www.pasmo.co.jp/charge/autocharge/>)

(注) ご利用いただける決済ブランドは、Visa、Mastercard®、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯です。

(3) これまでの主な取り組み

2025年 1月 国土交通省「令和6年度完全キャッシュレスバス実証運行」に参画
味の素スタジアム～調布駅北口の系統で実施。現在も継続中

2025年 3月 「クレカ乗車」サービスを調布営業所車両で初めて導入

2025年10月 ニュースリリース「路線バスの完全キャッシュレス化をすすめます」を発出

(<https://www.keio-bus.com/news/f0bd679938479e83c45e.pdf>)

路線バスのキャッシュレス化に関する特設サイトを開設

(<https://www.keio-bus.com/news/f0bd679938479e83c45e.pdf>)

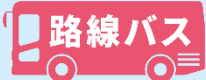


路線バス運賃機の現金投入口に開閉式の蓋を設置



- 2026年1月 国土交通省「令和7年度完全キャッシュレスバス実証運行」に参画
生活路線3線（調布駅北口～深大寺、つつじヶ丘駅北口～深大寺、千歳烏山駅～千歳船橋駅）で実施。現在も継続中
- 2026年3月 「クレカ乗車」サービスを中野・永福町・桜ヶ丘各営業所の車両へ拡大
- 2026年9月 実証運行エリアを中野・永福町・調布・桜ヶ丘営業所に拡大
(<https://www.keio-bus.com/news/38d4979ee62720de94f4.pdf>)
- 2026年11月末「クレカ乗車」サービスを全車両に導入完了（予定）
- ※「クレカ乗車」サービスは一部コミュニティバスではご利用いただけません。

●メインビジュアル



の完全キャッシュレス化を目指します!!

キャッシュレス化によるスムーズな支払いと利便性の向上

キャッシュレス決済による乗降時間の短縮



モバイルデバイスの活用・利用履歴管理



モバイルサービスならお手元のデバイスで手軽にチャージ
ICカードやモバイルの利用履歴の管理

- ・支払い時のストレス軽減
- ・乗降時間短縮による運行定時性向上
- ・デジタルを活用したサービス

より快適で、より便利なバスへ!!

現金業務の負担軽減

運転者の現金取扱作業削減



現金の運搬 運賃収受の対応

精算作業の軽減



現金の集計 管営会社への納金依頼

専用機器コストの削減



運賃機など専用機器のメンテナンスや買い替えのコスト削減

- ・働く環境の整備、運転者などの業務負担軽減
- ・効率化の促進

運転者の負担軽減による地域交通の持続性向上

2025年度

2026年度

2027年度以降

お客様周知期間

調布営業所一部路線にて実証開始

全営業所にて順次実証開始

運賃収受における現金取扱の終了

やさしさ つなぐ 京王バス
京王電鉄バスグループ

(4) その他

京王電鉄バスグループは、国土交通省が主催する「完全キャッシュレスバス推進協議会」に参画しています。また、導入にあたっては、国土交通省の令和7年度第一次補正予算地域における受入環境整備促進事業補助金「交通サービス利便向上促進事業」の活用を予定しています。

3. クレジットカード等のタッチ決済について

クレジットカード等によるタッチ決済「クレカ乗車」は、三井住友カードが提供する公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用し、タッチ決済対応のカード（ク

レジット・デビット・プリペイド) や、同カードが設定されたスマートフォン等を、新たに運賃機に設置する専用の端末にタッチすることでスムーズにご乗車いただけます。

クレジットカード等によるタッチ決済「クレカ乗車」の導入により、事前の現金のご準備や、ICカードへのチャージ等が必要なく、シームレスに、より便利にバスをご利用いただけます。京王バスでは、新たな決済手段の提供を通じ、お客様への利便性の向上を目指してまいります。



※「クレカ乗車」決済端末

[タッチ決済「クレカ乗車」履歴確認方法]

QUADRAC の Q-move サイト (<https://q-move.info/>) にアクセスし、「マイページ」の会員登録手続きが完了しますと確認可能です。



<Q-move サイトのご利用イメージ>



国土交通省では完全キャッシュレスバスの効果や課題を検証するため、事業者の申請に基づき、実証運行を行っています。実証運行は令和6年11月以降、全国各地で大きなトラブルなく円滑に実施され、現金利用率の低下やドライバーの負担の減少といった効果が確認されています。

参考文献：<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001888105.pdf>
(参考)

[お問い合わせ先]

京王電鉄バス株式会社

運輸営業部 営業企画担当 TEL：042-352-3723 までお願いいたします。